

平塚市環境基本計画(改訂版)

進捗状況報告書



平成 29 年 6 月

平塚市環境部環境政策課

本書について

平塚市では、平塚の環境を守り育てていく指針として「平塚市環境基本計画」を策定し、地球温暖化防止や自然環境の保全等につながる施策の取組を進めています。

環境基本計画では、毎年度、前年度における施策の実施状況について評価・点検を行い、計画に位置づけた施策の着実な推進を図ることとしており、この度、環境基本計画（第3期事業計画）に位置付けられた2016年度（平成28年度）の施策・事業の進捗状況がまとまりましたので、報告させていただきます。

■■■■■■ 目 次 ■■■■■■

平塚市環境基本計画について	2
重点施策の目標と実績一覧	5
重点施策の評価一覧	7
進捗状況点検結果の見方について	9
進捗状況点検結果	12
1 「環境市民」による活動の促進	12
2 生活環境の保全	20
3 自然環境の保全と再生	25
4 都市環境の保全と創造	38
5 地球環境保全への貢献	50

平塚市環境基本計画について

「平塚市環境基本計画」（平成 12 年 3 月策定）は、環境の保全と創造に関する施策を総合かつ計画的に推進する上での基本となる計画です。この計画に基づき、平塚市では、市民・事業者・市が協働でさまざまな取組を進めています。

平成 19 年 3 月には、計画策定以降の社会情勢の変化や施策の進捗状況を踏まえ、より着実かつ効果的な取り組みの推進を図るため、環境基本計画の改訂をしました。

1 計画期間

計画期間は、平成 19 年度から 28 年度までとしますが、環境問題を取りまく社会情勢の変化などにより、必要に応じて見直しを行います。また、施策や事業計画については、3 年毎に見直しを行います。

第 1 期事業計画：平成 19 年度～21 年度

第 2 期事業計画：平成 22 年度～24 年度

第 3 期事業計画：平成 25 年度～28 年度

2 環境基本計画のめざすもの

(1) 望ましい環境像

環境基本計画では、市民、事業者、市の三者が共通の認識を持って環境の保全と創造に取り組むために、「望ましい環境像」を次のとおり掲げています。

「環境市民」が築く環境共生・発信都市ひらつか

(2) 4 つの基本方針

『環境市民』が築く環境共生・発信都市ひらつか」を実現するため、4 つの基本方針に基づき、環境の保全と創造に取り組んでいきます。

1 環境保全・創造への参加と協働

市民・事業者の自発的かつ積極的な参加と市を含めた三者の協働により、将来の世代に継承すべき望ましい環境の保全と創造をたゆみなく行います。

2 自然と人との共生の確保

丘陵、里山、農地、河川、海などの豊かで身近な自然を大切にするとともに、これらの自然とのふれあいを図り、生態系の一員として自然と人との共生を図ります。

3 循環型地域社会の実現

日常生活や事業活動の中で環境への負荷を低減し、また大気、水、資源などの望ましい物質循環のシステムが確立された地域社会の実現を目指します。

4 広域的取組の推進

行政間や団体間の連携を図り、互いの活動に積極的に参加・協力することにより、環境の保全と創造についての広域的な取組を推進します。また、その中で先導的な平塚らしい取り組みを発信していきます。

3 施策の体系

第3期事業計画（平成25年度～28年度）では、5つの「施策の方向」と「めざすすがた」の実現に向け、13の「施策の柱」とそれらを実現するために必要な24の「施策の項目」を設定しました。「施策の項目」のうち、4年間で重点的に取り組む施策を重点施策、それ以外の施策を基本施策とし、重点施策については、目標と事業計画を掲げています。

施策の方向	施策の柱	施策の項目
1 「環境市民」による活動の促進	1-1「環境市民」をふやします	1 幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実 【重点】 2 地域における環境教育の充実 [基本]
	1-2「環境市民」の取組や連携を支援します	1 市民活動や企業の取組に対する支援 【重点】
2 生活環境の保全	2-1 空気や水をきれいにします	1 大気環境の保全対策の推進 [基本] 2 水環境の保全対策の推進 [基本]
	2-2 安全で快適な生活を守ります	1 化学物質対策の推進 [基本] 2 土壌汚染・地下水汚染への対応 [基本] 3 騒音・振動・悪臭・地盤沈下に対する取組 [基本]
3 自然環境の保全と再生	3-1 生物多様性を保全します	1 生物多様性の保全対策の推進 【重点】
	3-2 里山を保全し再生します	1 里山の保全・再生とふれあいの推進 【重点】
	3-3 水辺の自然を再生します	1 川や海の自然環境の再生とふれあいの推進 [基本]
	3-4 農地を保全し活用します	1 農業の活性化と農業とのふれあいの推進 【重点】 2 環境に配慮した農業の推進 [基本]
4 都市環境の保全と創造	4-1 うるおいとやすらぎのあるまちにします	1 みどりのネットワークの形成 【重点】 2 さわやかで清潔なまちづくりの推進 【重点】 3 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進 [基本]
	4-2 環境共生型のまちづくりを進めます	1 環境共生モデル都市の形成 [基本] 2 交通の円滑化の推進 [基本] 3 ヒートアイランド対策の推進 [基本]
5 地球環境保全への貢献	5-1 地球温暖化防止に取り組めます	1 新エネルギーの導入促進 【重点】 2 くらしや事業活動における環境への配慮の促進 【重点】
	5-2 循環型社会をつくれます	1 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進 【重点】 2 不法投棄防止対策の推進 [基本]
	5-3 広域的な環境保全に取り組めます	1 市民活動との協働と広域的な連携による施策の推進 [基本]

4 進捗状況の点検

平塚市環境基本計画については、毎年度、前年度における施策の実施状況について評価・点検を行い、計画に位置づけた施策の着実な推進を図ります。

(1) 実施状況の点検・評価

実施状況の点検・評価は、内部点検と外部点検により実施します。

内部点検

①担当課による自己点検

施策の実施状況・進捗状況について、担当課が自己点検し、問題点を抽出します。

外部点検

②市民意見の募集

環境基本計画の進捗状況等について、市民に意見を募集します。

第3期事業計画の策定に関しては、パブリックコメントを実施しました。

③平塚市環境審議会における審議

庁内での点検・検討結果と市民意見をもとに、平塚市環境審議会において審議し、意見を提出していただきます。

(2) 実施状況の点検・評価結果の反映

実施状況の点検・評価の結果については、可能なものから随時、施策の実施に反映していきます。

また、計画の進捗状況等について寄せられた市民意見については、今後の計画推進に反映していくとともに、寄せられた市民意見への対応状況を公表します。

(3) 実施状況の公表

環境基本計画に位置づけられた施策の実施状況や点検結果を年次報告書にまとめ、環境施策の周知を図ります。

重点施策の目標と実績一覧

(1) 重点施策の目標							
施策の方向	施策の柱	施策の項目	目標	目標値：上段 実績：下段			
				25年度	26年度	27年度	28年度
「環境市民」による活動の促進	「環境市民」をふやします	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	53園・校	54園・校	55園・校	56園・校
				52園・校	53園・校	53園・校	54園・校
	「環境市民」の取組や連携を支援します	市民活動や企業の取組に対する支援	環境ファンクラブの会員数	140人	160人	180人	200人
			平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数	90企業	95企業	100企業	100企業
自然環境の保全と再生	生物多様性を保全します	生物多様性の保全対策の推進	自然観察会の参加人数	45人	45人	45人	45人
	里山を保全し再生します	里山の保全・再生とふれあいの推進	里山保全モデル事業の開催回数・参加人数	6回 90人	6回 90人	6回 90人	6回 90人
				7回 80人	7回 87人	7回 99人	7回 106人
	農地を保全し活用します	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	耕作放棄地面積	3.7ha	3.3ha	3.0ha	2.7ha
			市民農園数	21箇所	23箇所	24箇所	25箇所
				22箇所 (1,171区画)	23箇所 (1,208区画)	24箇所 (1,235区画)	24箇所 (1,235区画)
都市環境の保全と創造	うるおいとやすらぎのあるまちにします	みどりのネットワークの形成	市民1人当たりの都市公園の面積	5.18㎡ 5.19㎡	5.40㎡	5.45㎡	5.50㎡
				5.40㎡	5.40㎡	5.50㎡	5.51㎡
		さわやかで清潔なまちづくりの推進	美化推進モデル地区の指定	3地区	4地区	4地区	4地区
				4地区	4地区	4地区	4地区
地球環境保全への貢献	地球温暖化防止に取り組みます	新エネルギーの導入促進	一般住宅の太陽光発電システムによる発電力	8,140 kW	10,000kW (適宜見直し)	事業終了	事業終了
				8,558kW	9,689kW	—	—
		「ひらつかCO2 CO2プラン」に取り組んだ人数	8,000人	9,000人	10,000人	10,000人	
	循環型社会をつくります	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数(再掲)	90企業	95企業	100企業	100企業
				65企業	71企業	55企業	58企業
			市民1人が1日に排出するごみの量		912g	911g	912g
				907g	898g	908g	897g
		ごみの資源化率	25.0%	25.0%	25.6%	26.4%	
			23.8%	25.0%	24.9%	24.9%	

実施状況調査				
H28		評価の説明や取組に対する自己評価	目標値変更	主管課
実績	評価			
54園・校	○	各園・学校での発達年齢段階に応じた取組の浸透により、環境教育への取組みの充実を図った。今後も引き続き小中学校・幼稚園（こども園）担当者研修を通じ、各学校・園が独自に取り組んでいるメニューの充実を促し、共有を図っていく。		環境政策課
101人	×	団体会員（1団体）の解散に伴い、昨年度より会員数は減少となった。活動発表会や「ひらつか環境フェア2016」等を実施し、「ひらつか環境ファンクラブ」の活動を周知したが、目標を達成することはできなかった。今後も、様々なイベント活動に合わせて当クラブの活動をPRしていく中で、会員数の増加を目指す。		環境政策課
58企業	×	会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、平塚市環境共生型企業懇話会を6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。		産業振興課
65人	○	セミの抜け殻を調べる行事（2回、33人）、平塚学講座（生物分野 1回、26人）、吉沢地区でキノコの観察会（1回、6人）を開催し、自然や動植物に親しむ機会を提供し、環境との関わりを学んだ。		博物館 環境政策課
7回 106人	○	実施回数、参加者ともに目標値を上回った。今後も引き続き、広報やウェブページを利用して里山保全モデル事業の周知に努めていく。		環境政策課
23.6ha	×	農水産課と農業委員会が連携し、荒廃農地調査の着実な実施と指導により一部解消が見られるものの、農業者の高齢化や担い手不足により、全体の面積として増加し、実績として削減には至らなかった。		農水産課
24箇所 (1,235区画)	○	24箇所の市民農園が平成27年度から継続しているが、開設に適した場所で市民農園の開設を希望する者はいなかった。		農水産課
5.51㎡	○	宮松町あおぞら公園他2公園の開設による増があり緑の軸の形成を考慮しながら公園面積を確保した。		みどり公園・水辺課
4地区	○	清掃活動に係わる消耗品の提供やクリーンひらつか指導員の派遣により、美化活動の支援を行った。		循環型社会推進課
—	—	概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。		環境政策課
12,454人	○	市内全小学校を通して小学生の家庭（家庭数）や広報紙、ウェブページ、公民館、市民課窓口等でのちらし配布のほか、ごみ減量化推進員会、美化推進員等を通じて周知を行った結果、目標を達成した。		環境政策課
58企業	×	会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、平塚市環境共生型企業懇話会を6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。		産業振興課
897g	○	一般廃棄物処理基本計画を平成27年3月に改訂したため、目標値を再設定した。目標値を平成27年度は910gから912gに、平成28年度は910gから908gに変更する。なお、ごみの減量を呼び掛けるチラシの配布等の推進施策を実施することにより、市民1人が1日に排出するごみの量の削減を進めている。	H27 910g→ 912g H28 910g→ 908g	循環型社会推進課
24.9%	○	一般廃棄物処理基本計画を平成27年3月に改訂したため、目標値を再設定した。目標値を平成27年度は25%から25.6%に、平成28年度は25%から26.4%に変更する。なお、資源化率の向上に寄与する剪定枝の各戸収集等を実施し、ごみの資源化率の向上を推進している。	H27 25%→ 25.6% H28 25%→ 26.4%	循環型社会推進課

重点施策の評価の一覧

No.	重点施策	目標	目標に対する評価	具体的取組内容の評価	総合評価
1	幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	○ (○)	○ (○)	○ (○)
2	市民活動や企業の取組に対する支援	環境ファンクラブの会員数	× (×)	○ (○)	× (×)
		平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数	× (×)		
3	生物多様性の保全対策の推進	自然についての講座、観察会等の参加人数	○ (○)	○ (○)	○ (○)
4	里山の保全・再生とふれあいの推進	里山保全モデル事業の開催回数・参加人数	○ (○)	○ (○)	○ (○)
5	農業の活性化と農業とのふれあいの推進	耕作放棄地面積	× (×)	△ (○)	△ (△)
		市民農園数	○ (○)		
6	みどりのネットワークの形成	市民1人当たりの都市公園の面積	○ (○)	○ (△)	○ (△)
7	さわやかで清潔なまちづくりの推進	美化推進モデル地区の指定	○ (○)	○ (○)	○ (○)
8	新エネルギーの導入促進	一般住宅の太陽光発電システムによる発電力	— (—)	○ (○)	○ (○)
9	くらしや事業活動における環境への配慮の促進	「ひらつかCO2CO2プラン」に取り組んだ人数	○ (○)	○ (○)	△ (△)
		平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数(再掲)	× (×)		
10	廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	市民1人が1日に排出するごみの量	○ (○)	△ (△)	△ (△)
		ごみの資源化率	○ (○)		

※()は、平成27年度の評価です。

総合評価の説明
重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。
<p>具体的な取組内容は、全て計画どおり実施されており、目標達成とした。一方、重点施策の目標は、2つの目標ともに実績値が目標値を大きく下回り、目標未達成とした。</p> <p>重点施策の目標の「環境ファンクラブの会員数」は、目標の達成に直接関係する具体的取組である「ひらつか環境ファンクラブの活動の促進」が計画どおり実施されているのにも係らず、目標を達成することができなかった。その一因として、年金給付年齢の引き上げに伴い、環境団体の活動に参加できる年齢層が狭まり、結果として、環境ファンクラブの活動に興味を持つ市民が減ってきていることが考えられる。今後は、環境ファンクラブの活動のPR方法の見直し等を行い、より多くの市民に興味を持ってもらえるような取組を検討する。</p> <p>重点施策の目標の「平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数」は、目標の達成に直接関係する具体的取組である「平塚市環境共生型企業懇話会の開催」が計画どおり実施されているのにも係らず、目標を達成することができなかった。その一因として、近年の民間企業のリスク管理体制の強化に伴い、懇話会の主な活動の1つである外部視察の視察先が公共施設などに限られてしまい、会員企業が興味を持つ魅力的な視察先が確保できなくなっていることが考えられる。今後は、会員企業の意見を基に、懇話会の活動内容などを見直し、会員企業が興味を持てるような活動内容を目指す。</p> <p>総合評価としては、具体的な取組内容は全て計画どおりに実施されたことやその他要因を勘案しても、重点施策の目標の実績値が目標値を大きく下回ったことから、目標未達成とした。</p>
重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。
重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。
<p>具体的な取組内容は、「市民農園整備支援事業」以外の取組は計画通り実施され、概ね計画どおりとした。重点施策の目標は、「耕作放棄地の面積」が目標未達成、「市民農園数」が目標達成となった。</p> <p>重点施策の目標の「耕作放棄地面積」は、目標の達成に関係する「農地の貸し借りの促進」を始め、様々な耕作放棄地対策が実施されているが、社会情勢の変化、農業従事者の高齢化や後継者不足、有害鳥獣の被害等により、耕作放棄地の増加を食い止められないのが実状である。</p> <p>重点施策の目標の「市民農園数」については、目標値を達成できた。ただ、平成27年度から新たに農園数を増やすことができず、目標の達成に関係する「市民農園整備事業」は目標未達成となり、今後、新たに農業を体験する市民の創出が課題となる。</p> <p>総合評価としては、耕作放棄地は増加し、平成28年度に新たな市民農園を開設することはできなかったが、耕作放棄地対策の具体的な取組が計画どおり実施されていること、市民農園数の目標値は達成できていることから、概ね計画どおり実施とした。</p>
<p>具体的な取組内容は、「新たな生垣の設置に対する助成」以外は計画どおり実施され、「新たな生垣の設置に対する助成」も概ね計画どおり実施できたことから、目標達成とした。重点施策の目標は、目標値を達成できたことから、目標達成とした。</p> <p>具体的な取組内容の1つの「新たな生垣の設置に対する助成」については、今後、民有地緑化策に対する助成の検討を深めていく。</p> <p>総合評価としては、重点施策の目標、具体的な取組内容ともに目標達成となっていることから、目標達成とした。</p>
重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。
<p>重点施策の目標の「一般住宅の太陽光発電システムによる発電力」は、目標値である10,000kwを概ね達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成26年度で事業を終了した。具体的な取組内容は、全て計画どおり実施できた。</p> <p>総合評価としては、重点施策の目標の事業が平成26年度で終了しているが、重点施策の目標値は平成26年度でおおむね達成していること、具体的な取組である公共施設への太陽光発電システムの率先導入や「新エネルギーに関する普及啓発の実施」など全て計画どおり実施されていることから、目標達成とした。</p>
<p>具体的な取組内容については、「雨水貯留槽の設置に対する助成」は目標未達成、「ひらつかエコモードの取組の推進」は概ね計画どおり実施となったが、その他の取組は計画どおり実施されていることから、目標達成とした。重点施策の目標については、「ひらつかCO2CO2プラン」に取り組んだ人数は目標値を達成できたが、平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数は目標を達成することができなかった。</p> <p>重点施策の目標の「平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業の延べ数」は、目標の達成に直接関係する具体的取組である「平塚市環境共生型企業懇話会の開催」が計画どおり実施されているのにも係らず、目標を達成することができなかった。その一因として、近年の民間企業のリスク管理体制の強化に伴い、懇話会の主な活動の1つである外部視察の視察先が公共施設などに限られてしまい、会員企業が興味を持つ魅力的な視察先が確保できなくなっていることが考えられる。今後は、会員企業の意見を基に、懇話会の活動内容などを見直し、会員企業が興味を持てるような活動内容を目指す。</p> <p>総合評価としては、重点施策の目標の「平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数」が目標値を達成できず、一部の具体的な取組内容に課題が残るものの、重点施策の目標の「ひらつかCO2CO2プラン」に取り組んだ人数の目標値を達成できたこと、具体的な取組内容が目標達成となったことから、目標達成とした。</p>
<p>具体的な取組内容については、「ごみ減量化・資源化協力店制度の拡充等」、「電動生ごみ処理機購入費の助成」は概ね計画どおり実施、「コンポスターの販売」は目標未達成であったが、その他の取組は計画どおり実施することができ、概ね計画どおり実施とした。重点施策の目標は「市民1人が1日に排出するごみの量」、「ごみの資源化率」とともに目標値を達成することができた。</p> <p>総合評価としては、一部の具体的な取組内容に課題が残るものの、2つの重点施策の目標がともに目標値を達成することができたこと、具体的な取組内容も概ね計画どおり実施できたことから、概ね計画どおり実施とした。</p>

進捗状況点検結果の見方について

〈凡 例〉

1	○○○○○ ※施策の方向
1-1	○○○○○ ※施策の柱

●**施策 1** ○○○○○ ※施策の項目

【重点施策】

（重点施策は、目標に対する実績と評価の説明、及び具体的な取組の年度計画に対する実績と評価の説明を記載しています。）

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
※環境基本計画から転記しています。	目標値	※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。
	実績	※25年度実績を記載しています。	※26年度実績を記載しています。	※27年度実績を記載しています。	※28年度実績を記載しています。

評 価	
28年度評価	※28年度の目標に対する達成状況を「○」、「×」等で評価をしています。
評価の説明	※評価の説明や取組に対する自己評価を記載しています。

【具体的な取組内容】

① ○○○○○ ※環境基本計画から転記しています。			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
※環境基本計画から転記しています。	※環境基本計画から転記しています。	※28年度実績を記載しています。	〈評価〉 ※28年度の目標に対する達成状況を「○」、「×」等で評価をしています。 ----- 〈説明〉 ※評価の説明や取組に対する自己評価を記載しています。

【評価指標について】（数値目標がある場合：達成率）

- ・ 目標を達成した場合又は目標達成と同等の状況と考えられる場合…○（90%以上）
- ・ 概ね計画どおり実施したが、目標を達成できなかった場合…△（70%以上90%未満）
- ・ 未実施又はあまり進展せず目標を達成できなかった場合…×（0%～70%未満）
- ・ 方針を変更若しくは廃止した場合又は実績等がでておらず、評価できない場合…ー

●施策2 ○○○○○ ※施策の項目

【基本施策】

(基本施策は、具体的な取組の事業計画と実績を記載しています。)

〔具体的な取組内容〕

① ○○○○○※環境基本計画から転記しています。		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
※環境基本計画から 転記しています。	※事業計画を掲載しています。	※平成28年度の実績を掲載しています。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
環境基本計画第3期事業計画で設定した施策のうち、重点的に取り組む施策を記載しています。	重点施策ごとに設定した目標を記載しています。設定した目標には、毎年度数値目標を立てています。	目標の28年度の数値目標に対する達成状況の評価を「〇」、「×」等で記載しています。	具体的な取組内容は左記の目標を達成するために毎年度目標ごとに複数設定しています。取組内容の評価は、28年度の目標に対する達成状況を「〇」、「×」等で記載しています。	重点施策の目標の評価や具体的な取組内容の評価だけではなく、社会情勢や施策の内容等も考慮し、28年度の重点施策の達成状況の総合評価を「〇」、「×」等で記載しています。

総合評価の説明

※総合評価の説明を記載しています。

【総合評価の考え方について】

重点施策の目標は、具体的な取組内容を推進することにより、目標値を達成することを目指していますが、必ずしも取組結果の評価が相関していません。

これは、重点施策の目標が具体的な取組内容を推進することにより受ける影響よりも、その他の要因（社会情勢、施策内容の変化等）により受ける影響の方が大きかったことによるものです。

総合評価では、重点施策の目標に対する評価や具体的な取組内容の評価だけではなく、社会情勢や施策の内容等も考慮し、重点施策を総合的に評価しています。

【評価指標について】（数値目標がある場合：達成率）

- ・ 目標を達成した場合又は目標達成と同等の状況と考えられる場合…〇（90%以上）
- ・ 概ね計画どおり実施したが、目標を達成できなかった場合…△（70%以上90%未満）
- ・ 未実施又はあまり進展せず目標を達成できなかった場合…×（0%～70%未満）
- ・ 方針を変更若しくは廃止した場合又は実績等がでておらず、評価できない場合…—

1 「環境市民」による活動の促進

1-1 「環境市民」をふやします

●施策1 幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	目標値	53園・校	54園・校	55園・校	56園・校
	実績	52園・校	53園・校	53園・校	54園・校

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	各園・学校での発達年齢段階に応じた取組の浸透により、環境教育への取組の充実を図った。今後も引き続き小中学校・幼稚園（こども園）担当者研修を通じ、各学校・園が独自に取り組んでいるメニューの充実を促し、共有を図っていく。

〔具体的な取組内容〕

① 幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
「わかば環境ISO」の推進 〔教育総務課, 教育指導課, 環境政策課〕	幼稚園・小中学校での取組の推進 ホームページにおける取組状況の発信 (年2回更新等)	各校(園)から提出される各種書類により計画的に取組が実践されていることを確認した。また、ホームページにおいて、取組状況を2回更新した。	〈評価〉○ 〈説明〉 担当者研修会の実施やホームページによる情報発信により、わかば環境ISOへの理解が深まり、学校(園)での円滑な取組に繋がっている。
	民間幼稚園での「わかば環境ISO」の取組の促進	民間幼稚園6園において、取組を継続するとともに、未加入の民間幼稚園へ参加を呼びかけた。その結果、平成29年度から新たに1園の参加の承諾を得た。	〈評価〉○ 〈説明〉 継続取組の6園に加え、翌年度から1園の新規参加により、環境学習の充実につながっている。

1 「環境市民」による活動の促進

① 幼稚園・保育園・小中学校での環境学習の推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
保育園における環境への取組の促進 〔保育課〕	環境配慮に関する学習や家庭への普及・啓発の実施（公立保育園全園で実施）	ゴーヤ等を利用した緑のカーテンに積極的に8園取り組んだ。特に、夏場の水利用に配慮した。廃材を利用した作品の製作などに取り組んだ。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 保育園で作品を制作する際には廃材を利用するなど、環境に配慮した取組を積極的に行った。また、節水に関しては園児たちに周知を行い、環境に配慮する意識を高めた。</p>
	民間保育園での環境配慮物品の利用促進等（全園に協力依頼）	環境配慮行動チェックシートを配布し、環境に対する意識を高めてもらった。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 継続して環境に配慮してもらおう呼びかけができた。</p>
② 学校などでの環境学習の支援			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
「ごみ学級」等の実施 〔循環型社会推進課、環境政策課〕	全小学校28校で実施	平成28年度から環境事業センター施設見学と合同で、ごみ学級を実施している。小学4年生を対象に4月から6月にかけて市内26校で実施し、2,039人が受講した。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 市内小学校（26校）の4年生に実施し、ごみの分別などについて周知することができた。2校は学校都合により実施できなかったが、後日環境事業センターの施設見学を行った。</p>
環境学習教材や情報の提供 〔環境政策課、教育研究所〕	教材の貸出、環境学習ガイドホームページの更新、他団体等との連携の試行等	<p>【教育研究所】 「わたしたちの平塚」を新3年生へ配布した。</p> <p>【環境政策課】 ・環境学習教材の貸出し実績は無かった。 ・ひらつか環境学習ガイドホームページの更新を行った。 [アクセス数：5,188件]</p>	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 【教育研究所】 「わたしたちの平塚」を計画通り配布できた。 【環境政策課】 市ウェブサイト上で環境学習教材の貸し出しを継続的に周知できた。ひらつか環境学習ガイドホームページのアクセス数は昨年度より約1,800件増加した。</p>

幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
幼稚園・小中学校などにおける環境教育の充実	わかば環境ISOで独自の分野に取り組んでいる幼稚園・小中学校数	○	○	○

総合評価の説明
重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。

●施策2 地域における環境教育の充実 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 子どもを対象とした環境教室等の開催		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
子ども環境教室及び環境ポスター・作文コンクールの開催 〔環境政策課〕	子ども環境教室（海編、里山編、金目川の生き物観察会）や環境フェア等の機会を利用して環境教室を実施する。また、小中学生を対象に、環境ポスター・作文コンクールを開催する。	子ども環境教室（参加者…里山編：66人、川編：129人）や環境フェア等にて環境教室を実施した。なお、海編については、悪天候で中止になった。また、小中学生を対象とした環境作文・ポスターコンクール（応募者484人）を実施した。
こども自然体験教室の開催 〔青少年課〕	びわ青少年の家で、農作業や収穫物の加工・創作活動などを行う。こども自然体験教室（びわっ子クラブ）を会員32人で年9回開催する。	びわ青少年の家で、農作業や収穫物の加工・創作活動などを行う、こども自然体験教室（びわっ子クラブ）を会員32人で年9回実施した。
② 幅広い年齢層を対象とした環境学習の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
青少年育成・生涯学習等における環境学習の促進 〔青少年課,中央公民館〕	地域の学習ニーズを把握し、地域の自然環境や地域人材・団体を活用し、環境を身近に感じるような講座を行う。	地区公民館において、地域の自然環境について学ぶ講座や平塚市内の清掃施設を親子で見学する講座を開催した。（10講座・参加者数 延232人）
博物館における環境に関する講座等の開催 〔博物館〕	野生動植物に関する講座、体験学習、調査や自然観察などの行事を開催する。また、市内の植物相の状況調査と植物標本の整理を継続する。	セミの抜け殻を調べる行事（2回、33人）、平塚学講座（生物分野 1回、26人）、吉沢地区でキノコの観察会（1回、6人）を開催しました。市内の植物相の状況調査と植物標本の整理を進めた。
市民活動団体等と連携した出前講座等の実施 〔環境政策課〕	ひらつか環境ファンクラブと連携して、環境・地球温暖化対策出前講座を10回開催する。	環境・地球温暖化対策出前講座を10回開催し、846人が参加した。

1 「環境市民」による活動の促進

1-2 「環境市民」の取組や連携を支援します

●施策1 市民活動や企業の取組に対する支援 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
環境ファンクラブの会員数	目標値	140人	160人	180人	200人
	実績	102人	103人	105人	101人

評 価	
28年度評価	×
評価の説明	<p>団体会員は解散に伴い1団体退会したが、3団体が新たに参加した。個人会員は、9人退会し、3人入会した。差引4人(団体)が前年度に比べ減少した。活動発表会や「ひらつか環境フェア 2016」等を実施し、「ひらつか環境ファンクラブ」の活動を周知したが、目標を達成することはできなかった。今後も、様々なイベント活動に合わせて当クラブの活動をPRしていく中で、会員数の増加を目指す。</p>

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数	目標値	90企業	95企業	100企業	100企業
	実績	65企業	71企業	55企業	58企業

評 価	
28年度評価	×
評価の説明	<p>会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、平塚市環境共生型企業懇話会を6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。</p>

〔具体的な取組内容〕

① 市民の環境保全活動に対する支援			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
「環境活動支援事業」等による支援 〔環境政策課,協働推進課〕	助成金交付 講座開催 情報提供	<p>【協働推進課】 公益信託ひらつか市民活動ファンド ・27年度助成を受けた市民活動団体の活動の成果報告会を開催。(4月) ・28年度の助成が決定した団体に助成金を交付。</p> <p>【環境政策課】 環境市民講座の開催や環境フェア、活動発表会など、環境活動支援事業を実施した。</p>	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 【協働推進課】 公益信託ひらつか市民活動ファンド ・平成28年4月23日に、27年度助成を受けた市民活動団体5団体の活動の成果報告会を開催。 ・28年度の助成が決定した4団体に助成金を交付。うち環境保全に関する活動をテーマとした団体の2団体に合計22万5千円助成を行った。</p> <p>【環境政策課】 環境市民講座、緑化まつり、ひらつか環境フェア、パネル展、活動発表会等で、環境に関する意識啓発や、ひらつか環境ファンクラブの活動紹介を行った。</p>
環境保全団体への支援 〔循環型社会推進課,みどり公園・水辺課〕	事業費の助成 研修会等の開催 情報提供等	<p>【循環型社会推進課】 ・ごみ減量化推進委員会 ごみ減量化推進委員会代表者会議の開催、会報の発行・回覧、各種イベント・キャンペーンへの参加を支援した。 ・美化推進委員長連絡協議会 平塚市美化推進委員長連絡協議会の開催、春、秋のまちぐるみ大清掃の実施、各種キャンペーンへの参加を支援した。</p> <p>【みどり公園・水辺課】 ・公園愛護会 公園愛護会への交付金の交付 連絡協議会への補助金の交付 総会、研修会の実施、会報の発行 ・緑化モデル団体 連絡協議会との連携として、情報提供や事業支援した。</p>	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 【循環型社会推進課】 各種イベント・キャンペーンに参加することにより、ごみの減量化、まちの美化について周知できた。</p> <p>【みどり公園・水辺課】 ・公園愛護会 交付金及び補助金の交付により活動の支援を行うとともに、総会・研修会・会報発行を通して情報提供を行った。 ・緑化モデル団体 総会等の場を通じて団体間のコミュニケーションが図られているとともに、団体が行う市内の緑を増やす活動の支援ができた。</p>

1 「環境市民」による活動の促進

② 環境にやさしい企業づくりの支援			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
平塚市環境共生型企业懇話会の開催 〔産業振興課〕	懇話会の開催 活動発表	平塚市環境共生型企业懇話会を6回開催し、その他に役員会を開催した。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 企業の取組事例の発表や講演会、施設見学の開催、展示会での活動発表など、企業による環境負荷の軽減へ向けた取組が促進された。</p>
公害関係法令に関する情報提供 〔環境保全課〕	公害関係法令に関する説明会の開催、ホームページによる情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> ・法令改正に係る情報発信を行った。 ・事業所立入時に法令改正のチラシの配付を行った。(51社) ・事業所説明会の実施に向けて対象事業所の検討を行った。 ・事業所説明会を開催・立入時にチラシを直接配付することにより公害抑制の啓発ができた。 ・化学物質管理状況報告書の未提出事業者に対して、制度の周知及び記入説明会の案内について通知を行った。このことにより、効率的に啓発と報告書の提出を促すことができた。(29社35人参加) ・大気汚染立入時に公害抑制のチラシ配布(43社) 	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 ・立入時にチラシを直接配付することにより公害抑制の啓発ができた。 ・化学物質管理状況報告書の未提出事業者に対して、制度の周知及び記入説明会の案内について通知を行った。このことにより、効率的に啓発と報告書の提出を促すことができた。</p>
③ 「環境市民」のネットワークづくりの促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
「ひらつか環境ファンクラブ」の活動の促進 〔環境政策課〕	活動発表会 4回開催	活動発表会を4回実施した。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉 ①4月に「緑化まつり」に参加し、パネル展示と環境教室を実施した。 ②7月に平塚市役所1階多目的スペース等で開催された「ひらつか環境フェア2016」に参加し、パネル展示と環境教室を実施した。 ③3月に平塚市役所1階多目的スペースにて、「ひらつか環境パネル展」を実施した。 ④3月に教育会館にて、「ひらつか環境ファンクラブ活動発表会」を実施した。</p>

市民活動や企業の取組に対する支援【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
市民活動や企業の取組に対する支援	環境ファンクラブの会員数	×	○	×
	平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数	×		

総合評価の説明

具体的な取組内容は、全て計画どおり実施されており、目標達成とした。一方、重点施策の目標は、2つの目標ともに実績値が目標値を大きく下回り、目標未達成とした。

重点施策の目標の「環境ファンクラブの会員数」は、目標の達成に直接関係する具体的取組である「ひらつか環境ファンクラブの活動の促進」が計画どおり実施されているのにも係らず、目標を達成することができなかった。その一因として、年金給付年齢の引き上げに伴い、環境団体の活動に参加できる年齢層が狭まり、結果として、環境ファンクラブの活動に興味を持つ市民が減ってきていることが考えられる。今後は、環境ファンクラブの活動のPR方法の見直し等を行い、より多くの市民に興味を持ってもらえるような取組を検討する。

重点施策の目標の「平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数」は、目標の達成に直接関係する具体的取組である「平塚市環境共生型企業懇話会の開催」が計画どおり実施されているのにも係らず、目標を達成することができなかった。その一因として、近年の民間企業のリスク管理体制の強化に伴い、懇話会の主な活動の1つである外部視察の視察先が公共施設などに限られてしまい、会員企業が興味を持つ魅力的な視察先が確保できなくなっていることが考えられる。今後は、会員企業の意見を基に、懇話会の活動内容などを見直し、会員企業が興味を持てるような活動内容を目指す。

総合評価としては、具体的な取組内容は全て計画どおりに実施されたことやその他要因を勘案しても、重点施策の目標の実績値が目標値を大きく下回ったことから、目標未達成とした。

2 生活環境の保全

2-1 空気や水をきれいにします

●施策1 大気環境の保全対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 大気汚染状況の監視測定の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
大気環境汚染状況の監視測定等の実施 〔環境保全課〕	市内5箇所の測定局において、大気常時監視測定を引き続き実施し、汚染の状況を把握する。	市内5箇所の測定局において、大気常時監視測定を実施した。 【環境基準達成状況】二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質（長期的評価）、微小粒子状物質は達成、光化学オキシダントは非達成。
② 事業活動に伴う大気汚染防止対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
工場・事業場に対する指導等の実施 〔環境保全課〕	工場・事業場に対して、立入調査・指導等を実施する。	環境月間立入調査、冬季の立入調査を行い、測定結果等の確認及び指導を実施した。また、苦情発生時、アスベスト排出工事などの立入調査（130件）・指導等を実施した。
③ 自動車利用に伴う大気汚染防止対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
環境にやさしい自動車利用に関する普及啓発・低公害車の導入の促進 〔環境政策課〕	環境にやさしい自動車及び低公害車に関する普及啓発を行う。	市ウェブページにおいて、クリーンエネルギー自動車に関するページを作成し、環境にやさしい自動車及び低公害車に関する普及啓発を行った。

●施策2 水環境の保全対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 家庭からの生活排水の適正な処理の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
下水道の整備・維持管理等の推進 〔下水道整備課〕	【下水道の整備・維持管理】 ○汚水管整備 ○管路更生 ○マンホール蓋交換	【下水道の整備・維持管理】 ○汚水管整備 L=78.7m ○管路更生 L=41.0m ○マンホール蓋交換 N=42 箇所
合併処理浄化槽の設置促進 〔下水道経営課〕	補助対象地域内に設置された合併処理浄化槽に対し補助金を交付する。維持管理費用を補助する。	維持管理費補助 217基
農業集落排水施設の整備 〔下水道整備課〕	平成27年度で農業集落排水の整備が完了したため、平成28年度は予定無し。	平成27年度で農業集落排水の整備が完了したため、平成28年度は実施しなかった。
水洗化の促進 〔下水道経営課〕	○公共下水道の普及啓発を促進し、普及率の向上を図る。 ○工事費の助成により、普及率の向上を図る。	○宅内排水設備確認申請件数 1,554件 ○未接続家屋の接続を促す訪問件数 5,213件 ○工事費の助成 排水設備工事費助成 17件
② 事業活動に伴う排水の適正な処理の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
工場・事業場に対する指導等の実施 〔環境保全課〕	工場・事業所に対して、立入調査・指導等を実施する。	水質汚濁防止法と神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき工場等の立入調査（115件）・指導を実施した。
家畜排せつ物処理施設等の整備・改修に対する助成 〔農水産課〕	家畜排せつ物処理施設の一部を補助する。	家畜排せつ物処理施設の一部を補助した。（10件）
③ 水質汚濁状況の監視測定等の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
水質汚濁状況の監視測定等の実施 〔環境保全課〕	神奈川県測定計画に基づく環境調査や市独自の水質測定を実施する。	神奈川県測定計画に基づき河川2地点、海域1地点の環境調査を実施した。また、市独自の水質測定として河川や主要排水路21地点で測定を実施した。 【環境基準達状況】 BOD：〈河川〉：91%（21/23）

2 生活環境の保全

2-2 安全で快適な生活を守ります

● **施策 1** 化学物質対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 化学物質に関する情報収集・提供		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
化学物質に関する情報収集・提供 〔環境保全課〕	化学物質に関する情報の収集及び提供を行う。	神奈川県から本市分のPRT Rデータの提供を受け、有害化学物質の使用状況についてウェブページで情報発信を行った。
② 化学物質対策の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
化学物質の適正管理の促進 〔環境保全課〕	神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく、化学物質の自主的な管理の状況の報告を促す。	神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく、申請を82件受理した。
ダイオキシン類対策の促進 〔環境保全課〕	測定調査を実施するとともに市ホームページに公開し情報提供する。苦情等による立入調査時に指導を行う。	一般大気環境調査を2地点で年2回実施するとともに、ダイオキシン類に関する情報について、市ホームページで公開し、情報提供を行った。また、野焼き等の立入指導を16件実施した。 【環境基準達成状況】100%

●施策2 土壌汚染・地下水汚染への対応 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 土壌汚染・地下水汚染の未然防止対策の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
土壌汚染・地下水汚染の未然防止対策の促進 〔環境保全課〕	土壌汚染対策法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、立入調査・指導等を行う。	土壌汚染対策法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、9件の立入及び指導を行った。
② 地下水汚染状況の監視測定の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
地下水汚染状況の監視測定の実施 〔環境保全課〕	水質汚濁防止法に基づき、地下水汚染実態調査を実施する。	神奈川県地下水質測定計画に基づき、24地点で地下水汚染実態調査を実施した。継続監視調査で7地点、環境基準を超過していた。 【環境基準達成状況 71% (17/24)】
③ 工場・事業場の汚染浄化対策効果の確認		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
工場・事業場の汚染浄化対策効果確認調査の実施 〔環境保全課〕	工場・事業場の汚染対策の効果確認のため、地下水調査を実施する。	工場・事業場周辺の汚染状況の確認のため、4社の周辺地下水調査を実施した。

●施策3 騒音・振動・悪臭・地盤沈下に対する取組 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 自動車や新幹線による騒音・振動への対応		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
自動車や新幹線による騒音・振動への対応 〔環境保全課〕	自動車騒音の常時監視測定、道路交通騒音・振動測定、新幹線騒音・振動測定を実施する。	自動車騒音の常時監視測定を4路線の7地点で実施し、環境基準の達成率は、88.9～100%だった。道路交通騒音・振動測定6路線の7地点で実施し、騒音は2地点で環境基準に適合、振動は全地点要請限度値以下であった。新幹線騒音・振動測定を6地点で実施し、騒音は4地点で環境基準値を超過、振動は全地点勧告指針値以下であった。
② 工場・事業場に対する規制・指導の実施		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
工場・事業場に対する規制・指導の実施 〔環境保全課〕	工場・事業場に対して、立入調査・指導等を実施する。	騒音規制法、振動規制法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出を受理するとともに適時助言を行った。102件の立入を実施した。
③ 悪臭への対応		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
臭気指数規制による悪臭への対応の充実 〔環境保全課〕	悪臭防止法の臭気指数規制に基づく指導・規制、必要に応じ測定を行う。	悪臭防止法の臭気指数規制に基づき、事業所の指導を行った。12件の立入を実施した。
④ 地盤沈下の防止		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
地盤沈下量の測定と地下水利用の規制・指導 〔環境保全課〕	地盤沈下の進行を監視するため、観測井による地盤沈下量等の観測を実施する。また、条例に基づく地下水利用の規制指導を行う。	地盤沈下の進行を監視するため、観測井による地下水位の観測を実施した。また、条例に基づく地下水利用の規制指導を行った。

3 自然環境の保全と再生

3-1 生物多様性を保全します

●施策1 生物多様性の保全対策の推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
自然についての講座、 観察会等の参加人数	目標値	45人	45人	45人	45人
	実績	75人	57人	48人	65人

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	セミの抜け殻を調べる行事（2回、33人）、平塚学講座（生物分野 1回、26人）、吉沢地区でキノコの観察会（1回、6人）を開催し、自然や動植物に親しむ機会を提供し、環境との関わりを学んだ。

〔具体的な取組内容〕

① 生物多様性の保全策の検討			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
生物多様性の 保全に向けた 仕組みづくり の検討 〔環境政策課〕	進行管理	県の生物多様性地域戦略に基づき、方向性を検討するとともに、他市の取組について、情報を収集した。	〈評価〉 - 〈説明〉 生物多様性の保全を進めるには、生物の生息状況などの基礎的なデータの収集が欠かせないため、その収集方法などが課題となる。
② 野生生物の情報収集			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
野生生物の情報収集・発信 〔博物館〕	情報収集・発信	博物館を活動拠点とする市民グループが主体となり市内の植物相の状況を調査し、これまでの植物標本の整理とデータ化を行った。	〈評価〉 ○ 〈説明〉 博物館を活動拠点とする市民グループ「湘南植物誌調査会」を主体として市内の植物の状況を調査し、情報を整理できた。

3 自然環境の保全と再生

③ 生物空間の保全対策の推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
みどりと水辺のネットワークの形成 〔みどり公園・水辺課〕	植栽等の整備	公共・公益スペースへの植栽等を行い、緑のネットワーク形成を図った。また、公園、広場等の公共用地及び公民館等の 244 個のプランターや花壇に住民団体、公共機関の協力を得ながら花苗を植栽した。	〈評価〉○ 〈説明〉 毎年、継続的な取り組みを行うことで、みどりと水辺のネットワーク形成を維持している。
生物空間の維持管理と利用 〔環境政策課、農水産課、みどり公園・水辺課〕	維持管理と利用	【環境政策課】 里山保全モデル事業を 7 回、環境教室を 2 回、大学交流事 3 回実施した。 【みどり公園・水辺課】 馬入水辺の楽校にて「エコアップ隊」11 回実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 〔環境政策課〕 市民活動団体や関係機関とともに生物空間の維持管理や利用をすることができた。 【みどり公園・水辺課】 水辺の環境づくりや調査などを行うエコアップ活動で全 11 回、延べ 298 人が活動を行った。
④ 野生生物への理解の促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
自然についての展示、講座、観察会等の実施 〔博物館〕	4 回	セミの抜け殻を調べる行事(2 回、33 人)、平塚学講座(生物分野 1 回、26 人)、吉沢地区でキノコの観察会(1 回、6 人)を開催した。	〈評価〉○ 参加者は、野鳥や植物・昆虫の観察や学習を通じて、身の周りの環境と生物の関わりを学び、野生生物への理解が促進された。
⑤ 鳥獣対策の推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
鳥獣対策の推進〔環境政策課、農水産課〕	予防策の周知、イノシシ捕獲檻の設置 30箇所	箱罠及びくくり罠を設置・管理し、イノシシ等の有害鳥獣の捕獲を行った。 箱罠設置数：17 くくり罠設置数：20 また、自主防除資材への補助を継続して実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 イノシシ40頭、シカ3頭、カラス453羽を捕獲した。また、自主防除資材への補助(30件)を継続して実施した。
特定外来生物の防除〔環境政策課〕	捕獲・処分の実施	第3次神奈川県アライグマ防除実施計画に基づき、特定外来生物の周知、捕獲等を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 アライグマ73頭の捕獲等により防除を実施した。

生物多様性の保全対策の推進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
生物多様性の保全対策の推進	自然についての講座、観察会等の参加人数	○	○	○

総合評価の説明

重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。

3 自然環境の保全と再生

3-2 里山を保全し再生します

●施策1 里山の保全・再生とふれあいの推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
里山保全モデル事業の 開催回数・参加人数	目標値	6回 90人	6回 90人	6回 90人	6回 90人
	実績	7回 80人	7回 87人	7回 99人	7回 106人

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	実施回数、参加者ともに目標値を上回った。今後も引き続き、広報やウェブページを利用して里山保全モデル事業の周知に努めていく。

〔具体的な取組内容〕

① 里山保全モデル地区における活動の推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
里山保全モデル地区における活動の推進 〔環境政策課〕	里山の維持管理と活用	土屋頭無地区で里山保全モデル事業を7回実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 5月と10月から3月まで月1回のペースでモデル事業を開催し、累計で106人の参加者があった。

3 自然環境の保全と再生

② 市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
市民を主体とした継続的な里山保全活動の促進 〔環境政策課〕	里山保全に関する講座・研修の実施、市民を主体とした里山保全活動の実施、ホームページ等による里山保全に関する情報の発信	里山保全モデル事業実施時に里山保全に関する研修等を実施した。ホームページ等を利用し、里山保全事業に関する情報を発信した。	〈評価〉○ 〈説明〉 市民ボランティア等に向け、里山保全に関する研修等を実施した。ホームページを利用し、里山保全モデル事業等の情報を発信した。
③ 里山の自然とのふれあいの促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
里山体験教室等の開催 〔環境政策課〕	9回	里山体験教室等を11回開催した。	〈評価〉○ 〈説明〉 里山保全モデル事業を7回、市民・大学交流事業を3回、夏休み子ども環境教室を1回開催した。

里山の保全・再生とふれあいの推進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
里山の保全・再生とふれあいの推進	里山保全モデル事業の開催回数・参加人数	○	○	○

総合評価の説明
重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。

3 自然環境の保全と再生

3-3 水辺の自然を再生します

●施策1 川や海の自然環境の再生とふれあいの推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 川や海の自然環境の保全と再生		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
河川・海岸での 美化活動の促進 〔みどり公園・水辺課〕	(河川) 県主催の「湘南里川づくりクリ ーンキャンペーン」の周知 (海岸) 海岸の美化キャンペーンの支援	(河川) 県が作製したリーフレットやチラシ でキャンペーンを周知した。 (海岸) 海岸の美化キャンペーンを支援し た。(6～8月に各1回、計3回)
海岸浸食対策の 促進 〔みどり公園・水辺課〕	「相模湾沿岸海岸侵食対策計画」に基 づく、海岸管理者(神奈川県)による 養浜事業の確認。	海岸管理者である神奈川県による養浜事業を確 認した。平成28年度、本市区域における養浜 事業の該当は無かった。
海底耕うんの 実施〔農水産課〕	海底耕うんを実施し、漁場の改善と廃 棄物の状況調査を支援する。	海底耕うんを6回実施し、漁場の改善と廃 棄物の状況調査を支援した。
② 川や海とのふれあいの促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
「馬入水辺の 楽校」の運営に 対する支援 〔みどり公園・水辺課〕	馬入水辺の楽校の会の活動を引き続き 支援する。 観察会などの実施予定 「エコアップ隊」(年11回予定)	馬入水辺の楽校の会の活動を支援した。 「エコアップ隊」(11回)
馬入花畑の整 備 〔みどり公園・水辺課〕	馬入花畑の会と協力して、花畑の維持 運営を実施。摘み取りイベントや平塚 地区環境対策協議会主催のチューリップ 球根の植栽を支援する。	馬入花畑の会と協力して、花畑の維持管理 作業を年間59回実施した。摘み取りイベ ント(春:4,000人、秋:6,000人)を実 施した。また平塚地区環境対策協議会主 催で約130名が4,000球のチューリップ球 根植栽の支援を実施した。
水辺の散策路 の維持管理 〔みどり公園・水辺課〕	散策路の除草委託、注意喚起看板の維 持管理などを実施する。	散策路の除草を26,236㎡分実施、注意喚 起看板の設置や補修などを行った。
河川で活動する 市民活動団体の 支援と連携強化 〔土木総務課〕 〔みどり公園・水辺課〕	【土木総務課】 鈴川鯉のぼりまつり、金目川清流こいのぼ り鑑賞会(河川占用の申請) 【みどり公園・水辺課】 河川のアムール活動、環境美化活動を行う団 体の活動を支援する。 河内川あじさいまつり(名義後援、駅前 地下道にまつり周知ポスターの掲示) 渋田川桜まつり(河川占用の申請など)	【土木総務課】 鈴川鯉のぼりまつり実施 (平成28年5月3日から5月5日まで) 金目川清流こいのぼり鑑賞会実施 (平成28年4月29日から5月5日まで) 【みどり公園・水辺課】 河川のアムール活動、環境美化活動を行う団 体の活動を支援した。 河内川あじさいまつり(名義後援、駅前地 下道にまつり周知のポスター掲示など) 渋田川桜まつり(河川占用の申請など)
都市漁村交流 活動の支援 〔農水産課〕	小学生の体験乗船、子ども環境教室な ど各種イベントや地獲れ魚の直売会の 開催を支援する。	ヒラメの稚魚放流時にあわせて、小学生の 乗船体験を実施し、漁協主催の地獲れ魚の 直売会を支援した。
稚魚放流体験の 実施 〔農水産課〕	地元小学生によるヒラメの稚魚放流を 支援する。	水産関係者や地元小学生によるヒラメの稚 魚放流(約17,000匹)を支援した。

3 自然環境の保全と再生

3-4 農地を保全し活用します

●施策1 農業の活性化と農業とのふれあいの推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
耕作放棄地面積	目標値	3.7ha	3.3ha	3.0ha	2.7ha
	実績	5.8ha	9.5ha	11.1ha	23.6ha

評 価	
28年度評価	×
評価の説明	<p>農水産課と農業委員会が連携し、荒廃農地調査の着実な実施と指導により一部解消が見られるものの、農業者の高齢化や担い手不足により、全体の面積として増加し、実績として削減には至らなかった。</p> <p>耕作放棄地面積の実績として、平成27年度までは農家に改善指導した後の実績値が記載されており、平成28年度は改善指導する前の実績値が記載されている。</p>

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民農園数	目標値	21箇所	23箇所	24箇所	25箇所
	実績	22箇所 (1,171区画)	23箇所 (1,208区画)	24箇所 (1,235区画)	24箇所 (1,235区画)

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	<p>24箇所の市民農園が平成27年度から継続しているが、開設に適した場所で市民農園の開設を希望する者はいなかった。</p>

〔具体的な取組内容〕

① 農業活性化の推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
担い手育成事業 〔農水産課〕	農業経営改善計画認定推進活動の実施	再認定対象者に対して農業経営改善計画作成支援を行った。また、経営など相談を受けた方に対応した。 再認定：18件 新規：1件	〈評価〉○ 〈説明〉 認定農業者の再認定活動を確実にを行うことを中心に、新規認定希望者に対応した。
サポートファーマー育成事業 〔農水産課〕	農作業研修・講義の開催	平成28年度から廃止	〈評価〉－ 〈説明〉 サポートファーマー育成事業の代替として、援農ボランティア事業を実施し、ボランティアと農家のマッチングを7件行った。
農地の貸し借りの促進 〔農業委員会〕	農地制度に関する情報の発信による農地の貸し借りの促進	新たに貸し借りが設定された農地面積 10.7ha	〈評価〉○ 〈説明〉 目標以上の農地集積・集約を行うことができた。 (新規利用権設定面積 ※年間目標7ha)
② 市民と農業とのふれあいの充実			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
市民農園整備支援事業(市民農園整備に対する助成・開設) 〔農水産課〕	1箇所	市ウェブページやチラシの配布等により、農地地権者へのPRを行ったが、開設に適した場所で市民農園の開設を希望する者はいなかった。	〈評価〉× 〈説明〉 開設に適した場所で市民農園の開設を希望する者はいなかった。
ひらつか花アグリ「農の体験・交流館」の運営〔農水産課〕	農の体験・交流館の管理運営・広報活動の実施	親子野菜づくり体験&採れたて野菜調理教室を春(全4回)と秋(全4回)に実施した。農の体験・交流館だよりを年6回発行した。 また、花菜ガーデン、あさつゆ広場等と連携しひらつか花アグリ収穫祭の一環として農の体験・交流館収穫祭を実施した。(参加者：478人)	〈評価〉○ 〈説明〉 体験事業等を通して市民に対して農業との触れ合いの機会を創出したり、市民農園の利用者に農業相談を行うなど、農業理解促進を図ることができた。
	花畑創出事業の実施	水田農業における休耕期に、農業者の参画のもとクリムソクローバーの播種を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 ひらつか花アグリ of 景観づくりを実施し、景観形成を行った。

3 自然環境の保全と再生

② 市民と農業とのふれあいの充実			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
農業体験学習 の支援 〔農水産課〕	農業体験学習の 支援	<p>■米づくり体験隊 主催：ハッピー会 実施日：6月18日（田植え 体験）、7月16日（草取り 体験）、10月22、23日 （収穫体験） 参加者：19組69人</p>	<p>〈評価〉○ 〈説明〉 収穫体験等を通じ、農業理解の促 進、農業の魅力発信ができた。</p>
③ 地産地消の促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
地産地消の 推進 〔農水産課、 学校給食課〕	ベジ太を活用し て平塚産農産物 をPR	様々なイベントにベジ太の 着ぐるみを積極的に登場さ せ、平塚産農産物をPRし た。また、ベジタマもなかプ ロジェクトを始動し、更なる 普及に努めた。	<p>〈評価〉○ 〈説明〉 ベジ太に対する市民の認知度が上 がり、農業理解の促進に繋がった。</p>
	学校給食におけ る地場産品の利 用等	地場産野菜については、使用 品目24品目で品目ベース 49%（昨年度53%）の割 合となった。なお、重量ベ ースにおいては、昨年度使用率 20.5%から21.4%に上が った。野菜以外の地場産品に ついては、アジ、カマス、サ バ、カオリ麺、小松菜トマト パン、やまゆりポーク、豚も も肉を積極的に使用した。	<p>〈評価〉○ 〈説明〉 地場産品を使用できるシステムは 定着してきたが、割高であるとな り、天候や作柄に左右されやす く、量の確保が難しいことがある。</p>

3 自然環境の保全と再生

③ 地産地消の促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
地場製品の普及 〔産業振興課, 農水産課, 商業観光課〕	「湘南ひらつか ふれあいマーケ ット」の開催、 「湘南ひらつか 名産品」の普 及・PR等	年12回湘南ひらつかふれ あいマーケットを開催した。 イベント等で湘南ひらつか 名産品の普及・宣伝を行っ た。	〈評価〉○ 湘南ひらつかふれあいマーケ ットにおける地場製品の販売や、湘南 ひらつか名産品の普及・宣伝によ り、地産地消の推進が図られた。
	地域ブランドの 開発支援等の実 施	<ul style="list-style-type: none"> ・「平塚市産業活性化会議・ 推進会議」の開催(3回開催) ・事業者の取組を支援するた めのセミナーの開催(2回開 催) ・6次産業化・地産地消法や 中小企業地域資源活用促進 法等に関する商品開発や販 路拡大などの支援(7件) ・諸課題を解決するため各プ ロジェクトによる検討、実証 実験等を実施 ・産業間連携促進事業に関す るネットワーク化等の新規 施策の検討、産業間連携ネッ トワークを創設 	〈評価〉○ 〈説明〉 産業間連携を促進するため「平塚 市産業活性化会議・推進会議」を 3回開催したほか、諸課題を解決 するため、各プロジェクトチーム において引き続き検討、実証実験 等を行った。また、新たに企業・ 団体・個人事業主等が連携できる 仕組みとしてのネットワークを創設 し、会員事業者の取組を促進する ためセミナーを開催したほか、会 員プロジェクトチームに対し専門 家派遣や開発費補助等の支援を行 うことで地域資源や技術、得意分 野を活用した新商品の開発や新事 業の創出を図った。

農業の活性化と農業とのふれあいの推進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
農業の活性化と農業とのふれあいの推進	耕作放棄地面積	×	△	△
	市民農園数	○		

総合評価の説明

具体的な取組内容は、「市民農園整備支援事業」以外の取組は計画通り実施され、概ね計画どおりとした。重点施策の目標は、「耕作放棄地の面積」が目標未達成、「市民農園数」が目標達成となった。

重点施策の目標の「耕作放棄地面積」は、目標の達成に関係する「農地の貸し借りの促進」を始め、様々な耕作放棄地対策が実施されているが、社会情勢の変化、農業従事者の高齢化や後継者不足、有害鳥獣の被害等により、耕作放棄地の増加を食い止められないのが実状である。

重点施策の目標の「市民農園数」については、目標値を達成できた。ただ、平成27年度から新たに農園数を増やすことができず、目標の達成に関係する「市民農園整備事業」は目標未達成となり、今後、新たに農業を体験する市民の創出が課題となる。

総合評価としては、耕作放棄地は増加し、平成28年度に新たな市民農園を開設することはできなかったが、耕作放棄地対策の具体的な取組が計画どおり実施されていること、市民農園数の目標値は達成できていることから、概ね計画どおり実施とした。

●施策2 環境に配慮した農業の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 環境保全型農業の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
環境保全型農業の促進 〔農水産課〕	園芸用廃ビニールの適正な処理に対して支援を行う。 環境保全型農業について、農業者に理解を求めるとともに、取り組む農業者には実績に応じ直接支援を行う。	園芸用廃ビニールの適正な処理による環境に配慮した農業生産を促進するため、廃棄処理事業の主体であるJA湘南に補助を実施した。
② 家畜排せつ物の適正処理と活用の促進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
家畜排せつ物処理施設等の整備・改修に対する助成（再掲） 〔農水産課〕	家畜排せつ物処理施設の一部を補助する。	家畜排せつ物処理施設の一部を補助した。（10件）
③ 自然環境に配慮した農業基盤の整備		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
自然環境に配慮した農道・水路等の整備 〔農水産課〕	農道を169m、用水路を30m、用水路の転落柵を30m整備し、堰を1基改修する。土木水利組合等に委託し、94,550㎡の除草を実施する。	農道を241m、用水路を110m、用水路の転落柵を76m整備し、堰を1基改修した。土木水利組合等に委託し、94,950㎡の除草を実施した。

4 都市環境の保全と創造

4-1 うるおいとやすらぎのあるまちにします

●施策1 みどりのネットワークの形成 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民1人当たりの都市公園の面積	目標値	5.19㎡	5.40㎡	5.45㎡	5.50㎡
	実績	5.40㎡	5.40㎡	5.50㎡	5.51㎡

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	宮松町あおぞら公園他2公園の開設による増があり緑の軸の形成を考慮しながら公園面積を確保した。

〔具体的な取組内容〕

① 拠点となるみどりの確保			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
身近な公園整備の推進 〔みどり公園・水辺課〕	高麗山公園再整備、街区公園再整備	高麗山公園再整備（桜やツツジの補植）工事を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 高麗山公園再整備（桜やツツジの補植）により湘南平の魅力アップが図られた。
② みどりのつながりの確保			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
花とみどりのまちづくりの推進 〔みどり公園・水辺課〕	公共施設への草花等の配布	公園、広場等の公共用地及び公民館等の243個のプランターや花壇に花苗の配布を5月、10月に実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 住民団体、公共機関の協力を得ながら花苗をプランター、花壇に植栽し、事業の推進を図ることができた。

4 都市環境の保全と創造

② みどりのつながりの確保			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
花とみどりの まちづくりの 推進 〔みどり公園・水 辺課〕	モデル地区等へ の草花の苗の配 布	6月、10月にモデル地区 に2,300株、モデル商店 街に360株の花苗を配 付した。	〈評価〉○ 〈説明〉 モデル地区である八重咲町では八重 咲町公園へ、モデル商店街である代 官町では商店街のプランターへ配布 した花苗を植栽していただいた。
新たな生垣の 設置に対する 助成 〔みどり公園・水 辺課〕	その他民有地緑 化策についても 検討	花水地区と中原地区にお いて、生垣の設置助成制度 の普及のためにチラシの ポスティングを実施した。 また民有地緑化対策とし て、屋上緑化や壁面緑化に ついて、検討を行ったが、 費用面やメンテナンス面 から積極的な導入は行わ れないと判断し、現行の生 垣助成制度を緩和すること により民有地緑化を進 めていくこととした。	〈評価〉△ 〈説明〉 ポスティングについては例年通り2 回実施した。民有地緑化対策につ いては、今後も継続して検討する。補 助金申請については、問い合わせは 4件あったが、補助金支出の対象と なったのは1件だった。
保全樹林制度 による樹木等 の保全 〔みどり公園・水 辺課〕	既存の保全樹木 等の保全・維持	保全樹木 56 本 保全樹林 8 箇所 保全生垣 5 箇所	〈評価〉○ 〈説明〉 保全樹等の検討や生垣化の推進等、 新たな緑の創出と保全を図った。
道路沿いの緑 化 〔道路管理課〕	市民による緑化 協力箇所数 12箇所(苗木 の提供4,000 本)	12 箇所に5,899本を 提供し、緑化を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 提供箇所数を増やし、苗木の提供本 数も目標値に達することができた。
③ 市民や事業者による緑化活動の支援と促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
緑化に関する 普及啓発の実 施 〔みどり公園・水 辺課〕	緑化まつり、緑 化ポスター・標 語コンクールの 実施	第 43 回平塚市緑化まつ りを開催し、2 日間で 60,000 人の来場があ った。 第 43 回平塚市緑化ポス ター・標語コンクールを 実施し、ポスター573 点、 標語 731 点の応募があ った。また、ポスター全作品 を展示した展示会には、4 日間で合計 984 人の来場 があった。	〈評価〉○ 〈説明〉 開催期間 2 日間で前年度比 13,000 人増となった。また、環境配慮型イ ベントとして、ゴミの減量化に取り 組んだ。

4 都市環境の保全と創造

③ 市民や事業者による緑化活動の支援と促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
市民の緑化活動に対する支援 〔みどり公園・水辺課〕	緑化モデル団体や公園愛護会の活動に対する支援	うるおいとやすらぎのあるまちにするため、市民の緑化活動に対する支援策として、地域で緑化を推進する「緑化モデル団体」及び「公園愛護会」への支援を継続し、みどりのネットワーク形成に努めた。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <p>助成金及び花の配布以外に物品の提供(清掃用具や植栽用具)ができないか検討した。 「緑化モデル団体」へは 24 団体に 2 回花の配布を行った。</p>
事業所等における緑化の促進 〔みどり公園・水辺課〕	事業所等における緑化促進に関する指導	まちづくり条例に基づき、事業所等における緑化促進に関する指導を実施した。	<p>〈評価〉○</p> <p>〈説明〉</p> <p>まちづくり条例に基づき、緑化指導を実施した。(緑化計画書の提出 26 件、その他にもできるだけ多くの緑地を確保するよう指導した。)</p>

みどりのネットワークの形成【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
みどりのネットワークの形成	市民1人当たりの都市公園の面積	○	○	○

総合評価の説明

具体的な取組内容は、「新たな生垣の設置に対する助成」以外は計画どおり実施され、「新たな生垣の設置に対する助成」も概ね計画どおり実施できたことから、目標達成とした。重点施策の目標は、目標値を達成できたことから、目標達成とした。

具体的な取組内容の1つの「新たな生垣の設置に対する助成」については、今後、民有地緑化策に対する助成の検討を深めていく。

総合評価としては、重点施策の目標、具体的な取組内容ともに目標達成となっていることから、目標達成とした。

●施策2 さわやかで清潔なまちづくりの推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
美化推進モデル地区の指定	目標値	3地区	4地区	4地区	4地区
	実績	4地区	4地区	4地区	4地区

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	清掃活動に係わる消耗品の提供やクリーンひらつか指導員の派遣により、美化活動の支援を行った。

〔具体的な取組内容〕

① さわやかで清潔なまちづくりの推進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
「美化推進モデル地区」における取組の支援 〔循環型社会推進課〕	モデル地区・活動等の充実	美化モデル地区に対し、清掃や条例啓発活動の美化活動に必要な支援を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 清掃活動に係わる消耗品の提供やクリーンひらつか指導員の派遣により、美化活動の支援を行った。
地区美化推進委員会に対する支援 〔循環型社会推進課〕	活動に対する助成や連絡協議会の開催等	連絡協議会を開催し、まちぐるみ大清掃や補助金支給に関する事務連絡を行うほか、各地区の取組やさわやか条例に関する意見交換を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 各地区の美化活動の取組状況や、さわやかで清潔なまちづくり条例に関する啓発の支援を行った。
清潔なまちづくりに向けた普及啓発の実施 〔循環型社会推進課〕	まちぐるみ大清掃の実施（年2回）、ポイ捨て防止キャンペーンの実施等	春と秋のまちぐるみ大清掃、年末のさわやかで清潔なまちづくりキャンペーンを実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 清掃活動やキャンペーンを実施し、市民に清潔なまちづくりを周知した。

さわやかで清潔なまちづくりの推進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
さわやかで清潔なまちづくりの推進	美化推進モデル地区の指定	○	○	○

総合評価の説明

重点施策の目標、具体的な取組内容ともに計画どおり実施されており、目標達成とした。

●施策3 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
景観計画及び 景観条例に基 づく取組の推 進 〔まちづくり政策 課〕	景観計画や景観条例を、より一層周知するとともに、良好な景観形成に寄与する市民団体の活動を推進するため、職員派遣などの支援を行った。また、公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、「景観ガイドライン」や「公共施設景観ガイドライン」に基づき指導・助言を行った。	景観計画、景観条例の周知とともに、良好な景観形成に寄与する市民団体の活動をより活性化するため、職員派遣などの支援を行った。また、民間事業者及び公共施設整備等に対しては、「景観ガイドライン」や「公共施設景観ガイドライン」に基づき、景観事前相談や協議を行うとともに、良好な景観形成に向けた指導・助言を行った。
西部丘陵地域 資源活用検討 事業 〔まちづくり政策 課〕	①東京農業大学地域再生研究部会の「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」分科会の活動に参加する。 ②「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が開催するワークショップに参加する。 ③西部丘陵地域で活動する団体等から、地域活性化に関する講師の派遣依頼があった場合は、講師を派遣する。	①東京農業大学地域再生研究部会「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」分科会の会議（5回開催）に参加した。 ②「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が開催するワークショップ（3回開催）に参加した。 ③「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」から、地域活性化に関する講師の派遣依頼があり、講師（東京工業大学 真田准教授）を派遣した。

4 都市環境の保全と創造

① 平塚らしい景観のあるまちづくりの推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
市民によるまちづくりの支援 〔まちづくり政策課〕	<p>①大人対象の「まちづくりわいわい塾」については、年間2回の開催を予定している。また、小学生とその保護者を対象とした「まちづくり探偵団」については、10月頃と3月頃に1回ずつ、計2回の開催を予定している。</p> <p>②スケッチ展については、美術館において平成28年10月27日から10月30日までの4日間開催する。</p> <p>③景観まちづくりに関連する事業を紹介するとともに、景観への意識啓発を行う景観パネル展を平成28年5月30日から6月3日までの5日間開催する。</p>	<p>①大人対象の「まちづくりわいわい塾」については、お住まいの地区のまちづくりに興味・関心を持っていただくことを目的として、「みんなのまちづくり入門」を10月21日と3月17日の2回開催した。小学生とその保護者を対象とした「まちづくり探偵団」については、あたらしいまちに生まれ変わった天沼地区についてまちづくりのポイントを学ぶ講座を10月12日に、また、まちを実際に歩き、グループでの話し合いや模型作りを通して、まちづくりに対する興味・関心を持ってもらう講座を3月27日に開催した。</p> <p>②平成28年度は市内の全小学生を対象に「にぎわいを感じる夏のまちかど」をテーマとして実施した。全作品（451作品）を美術館において平成28年10月27日から10月30日までの4日間展示し、延べ984人の来場があった。</p> <p>③景観まちづくりに関連する市民団体や企業等の活動を紹介し、景観への意識啓発を行う景観パネル展を平成28年5月30日から6月3日までの5日間開催した。</p>
建築協定制度の導入促進 〔建築指導課〕	開発事業に対する事前相談時に制度のPRを実施するとともに、土地所有者への理解を得ながら「住みよいまちづくり」の促進を図る。	ウェブページや開発事業の事前相談時に建築協定のPRを行った。
屋外広告物の掲出に関する規制・指導の実施 〔まちづくり政策課〕	<p>平塚市屋外広告物条例に基づき、屋外広告物を設置している事業者等に対して、広告物の適正な表示及び安全点検の実施について啓発・指導を行う。また、引き続き不適合物件への是正指導及び未申請物件の申請促進を実施する。</p> <p>除却協力員（MKO）との協力により、違反広告物の除却活動を平塚市内の各地域で実施する。</p>	<p>平塚駅周辺や景観重点区域の事業所等に対して、屋外広告物条例の周知及び安全点検の実施についてのリーフレットを配布し、適正な申請と安全管理を啓発した。</p> <p>また、許可期限が満了となる屋外広告物を表示している事業所等に対して、通知を送付し、継続申請を促した。</p> <p>除却活動としては、平成28年12月10日に除却協力員と市職員の総計50人により、平塚駅前周辺地域の違反広告物を130枚除却した。</p> <p>また、平成29年3月24日及び同25日に除却協力員と市職員の総計20名により、景観重点区域の違反広告物を172枚除却した。</p>

4 都市環境の保全と創造

② 平塚八景や歴史的・文化的資源の保全と活用		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
平塚八景の活用 〔商業観光課〕	ハイキングコース案内標識の修繕と危険箇所 の点検及び修繕を実施する。	①ハイキングコース経路修繕（木橋すべり止め補強、 橋下水路の補修） ②休憩所の蜂の巣撤去と軒下修繕 ③ハイキングコース注意看板撤去 ④ハイキングコース案内標識の柱補強・指導標等の修 繕（※防腐剤塗布・文字入れ・清掃等）
歴史的・文化的 資源の保存と 活用 〔社会教育課〕	旧横浜ゴム平塚製造所記念館で講 座や音楽演奏会、同館利用団体によ る活動発表会等を実施し、保存・活 用事業を更に進める。また、バラの 維持管理により、バラの拠点とし て、より市民に親しまれる施設とな るよう事業を進める。 エコミュージアム金目まるごと博 物館による金目地区の自然や歴史 ・文化の保全・活用活動に対し、 効率的な取組を検討し実施する。	旧横浜ゴム平塚製造所記念館では、歴史講座 （25人）、文化講座（23人）、音楽演奏会（春 472人・秋479人）、同館利用団体による成 果発表会（クリスマスフェスタ 897人）や 毎月1回の全館解放事業、コンサートなどの 事業を実施し、資源の活用を図った。また、 約200本のバラの開花に合わせて春と秋にバ ラフェスタを開催し、記念館をバラの拠点と して活用した。 金目エコミュージアムにより、桜まつり、 収穫祭をはじめ年間を通じて、ガイドボラン ティア活動（2回開催 29人）、自然観察会 （2回開催 191人）やどんぐりクラフトづ くりや野菜塾などの体験塾（4回開催 107 人）で自然に親しみ体験することができるイ ベントを開催し、自然や歴史、文化財の保全 と活用を進めた。

4 都市環境の保全と創造

4-2 環境共生型のまちづくりをすすめます

●施策1 環境共生モデル都市の形成 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① ツインシティの実現に向けた取組の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
地域住民を中心としたまちづくり及び地権者による土地区画整理事業の推進 〔都市整備課〕	土地区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行う。神奈川県主催で、地元住民や学識経験者、行政の参加する「環境と共生するまちづくり検討会」に参加する。	土地区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行った。
ツインシティの整備の推進 〔都市整備課〕	関係機関とともに、環境共生モデル都市の実現に向けて取り組む。また、環境アセスメント予測評価書に基づく、環境保全措置について対応していく。	関係機関とともに、環境共生モデル都市の実現に向けて取り組んだ。また、環境アセスメント予測評価書に基づく、環境保全措置について対応した。

●施策2 交通の円滑化の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 交通による環境負荷の低減		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
バス交通の整備促進 〔交通政策課〕	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県地域交通研究会において、バス交通の充実や生活路線の運行確保等について調査・検討を行う。 速度低下の主な原因であるボトルネック解消には、交差点改良等が必要で莫大な費用と時間がかかるため、中長期的に「幹線バス、路線バスの再編」の中でバス事業者等と検討していく。 上屋設置に対する補助制度（案）の熟成を図る。新たなバス停付近駐輪場等設置に向けた検討をしていく。 情報提供の強化に向けたバスマップの作成を、バス事業者と協働で取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県地域交通研究会において、バス交通の充実や生活路線の運行確保等について調査・検討している。 速度低下の主な原因であるボトルネック解消には、交差点改良等が必要で莫大な費用と時間がかかるため、中長期的に「幹線バス、路線バスの再編」の中でバス事業者等と検討している。 上屋設置に対する計画（案）を作成した。また、バス停付近駐輪場を1か所設置した。 情報提供の強化に向けたバスマップの作成を、バス事業者と協働で検討している。
道路の新設・改良 〔道路整備課〕	幹線道路（吉沢土屋線ほか）を整備する。	幹線道路（吉沢土屋線ほか）を整備した。
鉄道交通の整備促進 〔交通政策課〕	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に参加し、鉄道混雑の緩和や新規鉄道の平塚駅乗り入れなどの実現に向け、商業関係者とともに、JRなどの関係機関に要望活動を実施する。	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議に参加し、鉄道混雑の緩和や新規鉄道の平塚駅乗り入れなどの実現に向け、関係者とともに、JRなどの関係機関に要望活動を実施した。
新しい公共交通システムの検討 〔交通政策課〕	南北都市軸において、幹線バス・路線バスの再編をしていく中で、バス専用レーン・公共交通優先信号・連節バス導入等の環境に配慮した高次な機能を備えた路線バスシステムの検討をバス事業者と協議する。	南北都市軸において、幹線バス・路線バスの再編をしていく中で、次年度に委託にて実施する予定の新たな公共交通導入に向けた計画策定について、バス事業者と協議を実施した。
駐輪場整備の促進 〔交通政策課〕	自転車等利用マナー向上の啓発事業を継続するとともに、放置自転車等の撤去を徹底する。また、駅南側の駐輪場については、土地を借り上げての新設や既存の駐輪場の改修について検討する。	自転車等利用マナー向上の啓発事業を継続するとともに、放置自転車等の撤去を徹底した。また、駅南側の駐輪場については、鉄道用地を借り上げて駐輪場整備を実施する方針を定めた。

●施策3 ヒートアイランド対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① ヒートアイランド対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
建物等の緑化の促進 〔みどり公園・水辺課〕	有効な緑化策について引き続き検討し、導入を目指す。	建築物の壁面緑化等の有効な緑化策について情報収集をした。
建造物による蓄熱の低減に向けた調査・検討 〔環境政策課,事業担当課〕	他市町村の取組の状況について、県を通じて情報収集をする。	平塚市が取り組んでいるクールタウン作戦などの温暖化軽減対策について、神奈川県へ情報提供した。また、県内自治体の取組について、県から情報提供を受けた。
身近な公園整備の推進(再掲) 〔みどり公園・水辺課〕	高麗山公園再整備(桜の補植)工事を実施予定。	高麗山公園再整備(桜やツツジの補植)工事を実施した。
人工排熱の抑制に向けた普及啓発の実施 〔環境政策課〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらつかCO2CO2プランへの取組を呼び掛ける。 ・クール・タウン作戦として、グリーンカーテンコンテストを実施する。 	<p>ひらつかCO2CO2プランは、小中学生10,929人、一般家庭1,525人 合計12,454人の参加があった。</p> <p>クール・タウン作戦として、グリーンカーテンコンテストを実施し、16点の応募があった。</p>

5 地球環境保全への貢献

5-1 地球温暖化防止に取り組みます

●施策1 新エネルギーの導入促進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般住宅の太陽光発電システムによる発電力 (助成対象累計)	目標値	8,140kW	10,000kW 適宜見直し	事業終了	事業終了
	実績	8,558kW	9,689kW	—	—

評 価	
28年度評価	—
評価の説明	概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。

〔具体的な取組内容〕

① 公共施設における新エネルギーの率先導入			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
公共施設への太陽光発電システムの率先導入 〔建築住宅課、事業担当課〕	各施設の完成に向けた工事	消防署神田出張所に太陽光発電システムを設置した。	〈評価〉○ 〈説明〉 太陽光発電システム導入により、環境に配慮した公共施設の整備が進んだ。
	屋根貸し制度等に関する調査・検討、導入可能な施設への整備	他市事例の状況等を踏まえ、調査・研究を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 神奈川県や他市の状況、新規事業の動向などについて調査・研究を行うことができた。
新エネルギーに関する調査・検討の実施 〔環境政策課〕	調査・検討	神奈川県や他市などの新エネルギー補助制度等について情報収集を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 神奈川県や他市などで導入されているネット・ゼロ・エネルギー・ハウスへの補助制度等について調査することができた。

② 一般家庭や事業者への太陽光発電システムの導入促進			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
一般住宅への太陽光発電システム等の設置に対する助成 〔環境政策課〕	太陽光発電システムの設置に対する助成 450件	—	<p>〈評価〉 —</p> <p>〈説明〉 概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。</p>
	燃料電池の設置に対する助成 70件	—	<p>〈評価〉 —</p> <p>〈説明〉 燃料電池の設置費用が下がってきたことにより、平成28年度から補助制度を廃止した。</p>
事業者の太陽光発電システム等の設置に対する支援 〔産業振興課〕	本市融資制度内に資金メニューの設置 利子補給・信用保証料補助	<p>資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに融資を受けた事業者に対し、利子補給する制度等を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資相談 3件 ・融資実行 1件 ・信用保証料補助 1件 ・利子補給 0件 	<p>〈評価〉 ○</p> <p>〈説明〉 融資及び補助金制度について、ウェブページへの掲載やパンフレットの配布により、市内事業者への周知を図った。28年度は1件の実績があり、継続して積極的な事業周知を図る。</p>
新エネルギーに関する普及啓発の実施 〔環境政策課〕	イベントでのPRや子ども環境教室の開催など	「緑化まつり」、「ひらつか環境フェア」などのイベントにおいて、市民団体とともに新エネルギーに関する環境教室等を実施した。	<p>〈評価〉 ○</p> <p>〈説明〉 おもちゃを使った太陽光発電の体験やソーラーオルゴールの工作など、子ども目線に合わせた環境教室を開催した。</p>

新エネルギーの導入促進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
新エネルギーの導入促進	一般住宅の太陽光発電システムによる発電力	—	○	○

総合評価の説明

重点施策の目標の「一般住宅の太陽光発電システムによる発電力」は、目標値である 10,000kw を概ね達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成 26 年度で事業を終了した。具体的な取組内容は、全て計画どおり実施できた。

総合評価としては、重点施策の目標の事業が平成 26 年度で終了しているが、重点施策の目標値は平成 26 年度でおおむね達成していること、具体的な取組である公共施設への太陽光発電システムの率先導入」や「新エネルギーに関する普及啓発の実施」など全て計画どおり実施されていることから、目標達成とした。

●施策2 くらしや事業活動における環境への配慮の促進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
「ひらつか CO2CO2 プラン」に取り組んだ 人数	目標値	8,000人	9,000人	10,000人	10,000人
	実績	8,508人	9,745人	10,721人	12,454人

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	市内全小学校を通して小学生の家庭（家庭数）や広報紙、ウェブページ、公民館、市民課窓口等でのちらし配布のほか、ごみ減量化推進委員会、美化推進員等を通じて周知を行った結果、目標を達成した。

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
平塚市環境共生型企业 懇話会の参加企業延べ 数（再掲）	目標値	90企業	95企業	100企業	100企業
	実績	65企業	71企業	55企業	58企業

評 価	
28年度評価	×
評価の説明	会員企業のアンケート結果を基にテーマを決め、平塚市環境共生型企业懇話会を6回開催したが、目標を達成することはできなかった。開催日の日程調整等を含めた対応を進め、参加企業数の増加を目指す。

〔具体的な取組内容〕

① 環境に配慮したくらしの普及			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
日常生活における環境への配慮の取組の促進 〔環境政策課〕	「ひらつかCO2CO2プラン」の取組呼びかけなど	小中学生 10,929 人、 一般家庭 1,525 人 合計 12,454 人の参加があった。	〈評価〉○ 〈説明〉 市内全小学校を通して小学生の家庭（家庭数）や広報紙、ウェブサイト、公民館、市民課窓口等でのちらし配布のほか、ごみ減量化推進員会、美化推進員等を通じて周知を行った結果、目標を達成した。
一般住宅への太陽光発電システムの設置に対する助成（再掲） 〔環境政策課〕	太陽光発電システムの設置に対する助成 450 件	—	〈評価〉— 〈説明〉 概ね目標を達成したこと、太陽光発電システムの設置費用も下がってきたことにより、平成27年度から補助制度を廃止した。
	燃料電池の設置に対する助成 70 件	—	〈評価〉— 〈説明〉 燃料電池の設置費用が下がってきたことにより、平成28年度から補助制度を廃止した。
電気自動車等の導入に対する助成 〔環境政策課〕	—	—	〈評価〉— 概ね目標を達成したこと、電気自動車等の購入費用も下がってきたことにより、平成28年度から補助制度を廃止した。
自治会等が管理する防犯灯へのLEDの導入に対する助成〔危機管理課〕	設置費の助成	LED13 灯導入	〈評価〉○ 〈説明〉 環境負荷の低減及び光熱費等の効果的な削減を目標とした ESCO 事業を活用し、平成28年4月から自治会から移管を受けた全ての防犯街路灯を LED 化したため、平成28年度をもって、防犯街路灯設置補助金が廃止となった。

5 地球環境保全への貢献

① 環境に配慮したくらしの普及			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
雨水の有効活用 の促進 〔下水道経営課〕	雨水貯留槽の設置 に対する助成 20基	8基の補助金申請に対し8基に補助金を交付した。 (雨水貯留槽:8基 浄化槽転用雨水貯留槽:0基)	〈評価〉× 〈説明〉 広報やウェブページに加え、緑化まつり、ホームセンターでのちらし配架等のPRを行った結果、目標には届かなかった。今後も引き続き広報などを通じてPRを行っていく。
省エネルギー 機器等の利用 促進 〔環境政策課〕	イベント等における 情報提供	7月に開催した「ひらつか環境フェア2016」等で市民団体や事業者と協力し、情報提供を行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 太陽光発電やLED照明、エネファーム、HEMS等の省エネ機器の情報提供や実演を行い、PRをすることができた。
クール・ビル作 戦等の実施 〔環境政策課〕	クール・ビル作戦、 クール・タウン作 戦の実施	クール・タウン作戦として、グリーンカーテンコンテストを実施し、16点の応募があった。	〈評価〉○ 〈説明〉 建物の壁面温度の上昇抑制や潤いのあるみどりの景観を創出する効果のあるグリーンカーテンのコンテストを実施することにより、育成に関する成功例や工夫例などの情報の収集、提供をすることができた。
② 環境に配慮した事業活動の普及			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
平塚市環境共 生型企业懇話 会の開催(再 掲) 〔産業振興課〕	懇話会の開催 活動発表	平塚市環境共生型企业懇話会を6回開催し、その他に役員会も行った。	〈評価〉○ 〈説明〉 企業の取組事例の発表や講演会、施設見学の開催、展示会での活動発表など、企業による環境負荷の軽減へ向けた取組が促進された。
事業者の太陽 光発電システ ムや省エネ機 器等の導入に 対する支援(再 掲) 〔産業振興課〕	本市融資制度内に 資金メニューの設 置 利子補給・信用保 証料補助	資金メニューに「地球温暖化対策資金」を設置するとともに融資を受けた事業者に対し、利子補給する制度等を設けた。 ・融資相談 3件 ・融資実行 1件 ・信用保証料補助 1件 ・利子補給 0件	〈評価〉○ 〈説明〉 融資及び補助金制度について、ウェブへの掲載やパンフレットの配布により、市内事業者への周知を図った。28年度は1件の実績があり、継続して積極的な事業周知を図る。

② 環境に配慮した事業活動の普及			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
事業活動における環境への配慮の促進 〔環境政策課,産業振興課〕	事業者に対する働きかけ、情報提供、設備導入に対する助成	広報紙、ウェブページ、チラシなどを通じて環境設備導入に対する助成制度の周知を図った。平成28年度の補助実績は無かった。	〈評価〉○
			〈説明〉 計画通り事業者への周知・情報提供を行った。
建築に伴う環境負荷の低減 〔建築指導課〕	法令に基づく指示等の実施	省エネルギー法に基づく届出が75件あり、確認の結果、著しく不十分な届出はなく指示等もなかった。	〈評価〉○
			〈説明〉 法令に基づき、適切な届出の確認ができた。
③ 市の事業活動における環境への配慮			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
ひらつかエコモードの取組の推進 〔環境政策課ほか全所属〕	取組の推進	全課共通の取組と本市の達成目標を設定して全庁的に取り組んだ。また、研修や環境監査の実施により、効果的な運用を図った。	〈評価〉△
			〈説明〉 ガソリン使用量は、目標を達成する見込みで、用紙使用量は、中期的な分析が必要だが、平成27年度比では削減が見込まれる。一方、電気使用量は増加の見込である。
ごみの焼却に伴う余熱利用の推進 〔環境施設課〕	供用開始	余熱利用施設（リフレッシュプラザ平塚）が完成し、平成29年3月19日から供用を開始した。	〈評価〉○
			〈説明〉 予定通りに工事が終了し、供用を開始した。
環境に配慮した公共施設の整備の推進〔建築住宅課,危機管理課,道路管理課,事業担当課〕	各施設の完成に向けた工事	<ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎2期工事を進めている。 ・競輪場メインスタンド増築工事を進めている。 ・余熱利用施設が完成した。 	〈評価〉○
			〈説明〉 ・競輪場メインスタンド及び新庁舎2期工事は雨水利用設備の設置を行うなど環境に配慮した計画としている。 ・環境事業センターから発生する余熱を利用した施設が完成した。
	防犯灯へのLEDの導入 50灯	6,766灯	〈評価〉○
街路灯のLED化の検討・導入	街路灯のLED化の検討・導入	道路照明灯のLED化（1385灯）を行った。	〈評価〉○
			〈説明〉 ESCO事業を利用することにより、一度に道路照明灯をLED化することができた。

5 地球環境保全への貢献

③ 市の事業活動における環境への配慮			
取組内容 〔所管課〕	28年度計画	28年度実績	評価
廃棄物発電 〔環境施設課〕	発電余剰分売電	発電余剰分として、 25,975,361kwh の電力を 売電した。	〈評価〉○ 〈説明〉 環境事業センター運営事業者が 発電余剰分を売電した。
公共施設にお ける環境に配 慮した電力調 達契約の推進 〔契約検査課、環 境政策課、事業担 当課〕	事業者の選定 電力調達	【契約検査課】 各施設所管課の電力調達に係 る競争の取りまとめを行い、 環境評価項目を満たした事業 者を対象に入札を実施し、契 約を行った。 【環境政策課】 電気事業者の選定に際し、環 境配慮面を考慮した。	〈評価〉○ 〈説明〉 【契約検査課】 取りまとめ依頼を受けた施設に ついて、すべての施設で事業者 の選定を行うことができた。 【環境政策課】 環境に配慮した電力契約に寄与 した。

くらしや事業活動における環境への配慮の促進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
くらしや事業活動における環境への配慮の促進	「ひらつかCO ₂ CO ₂ プラン」に取り組んだ人数	○	○	△
	平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数（再掲）	×		

総合評価の説明

具体的な取組内容については、「雨水貯留槽の設置に対する助成」は目標未達成、「ひらつかエコモードの取組の推進」は概ね計画どおり実施となったが、その他の取組は計画どおり実施されていることから、目標達成とした。重点施策の目標については、「ひらつかCO₂CO₂プラン」に取り組んだ人数は目標値を達成できたが、平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数は目標を達成することができなかった。

重点施策の目標の「平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業の延べ数」は、目標の達成に直接関係する具体的取組である「平塚市環境共生型企業懇話会の開催」が計画どおり実施されているのにも係らず、目標を達成することができなかった。その一因として、近年の民間企業のリスク管理体制の強化に伴い、懇話会の主な活動の1つである外部視察の視察先が公共施設などに限られてしまい、会員企業が興味を持つ魅力的な視察先が確保できなくなっていることが考えられる。今後は、会員企業の意見を基に、懇話会の活動内容などを見直し、会員企業が興味を持てるような活動内容を目指す。

総合評価としては、重点施策の目標の「平塚市環境共生型企業懇話会の参加企業延べ数」が目標値を達成できず、一部の具体的な取組内容に課題が残るものの、重点施策の目標の「ひらつかCO₂CO₂プラン」に取り組んだ人数の目標値を達成できたこと、具体的な取組内容が目標達成となったことから、目標達成とした。

5 地球環境保全への貢献

5-2 循環型社会をつくります

●施策1 廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進 【重点施策】

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民1人が1日に排出するごみの量	目標値	912g	911g	912g	908g
	実績	907g	898g	908g	897g

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	<p>一般廃棄物処理基本計画を平成27年3月に改訂したため、目標値を再設定した。目標値を平成27年度は910gから912gに、平成28年度は910gから908gに変更する。</p> <p>なお、ごみの減量を呼び掛けるチラシの配布等の推進施策を実施することにより、市民1人が1日に排出するごみの量の削減を進めている。</p>

目 標					
項目	年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ごみの資源化率	目標値	25%	25%	25.6%	26.4%
	実績	23.8%	25%	24.9%	24.9%

評 価	
28年度評価	○
評価の説明	<p>一般廃棄物処理基本計画を平成27年3月に改訂したため、目標値を再設定した。目標値を平成27年度は25%から25.6%に、平成28年度は25%から26.4%に変更する。</p> <p>なお、資源化率の向上に寄与する剪定枝の各戸収集等を実施し、ごみの資源化率の向上を推進している。</p>

〔具体的な取組内容〕

① 廃棄物の発生抑制・資源化の推進			
取組内容 〔所管課〕	28 計画	28 実績	評価
ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発 〔循環型社会推進課、環境施設課〕	ごみ減量化・資源化協力店制度の拡充等	商店に協力店募集のチラシを送付したが、商店の閉鎖等により拡充はできなかった。平成28年度末の登録数は180店、平成28年度は21店舗の減少であった。	〈評価〉△ 〈説明〉 ごみ減量化・資源化協力店への新規の申し込みはあるが、閉店する店舗が多く協力店数は減少した。新規登録の啓発が必要。
家庭ごみの有料化に向けた検討 〔循環型社会推進課〕	有料化に向けた調査・研究	廃棄物対策審議会において家庭ごみの戸別収集に関する調査研究の要素の1つとして協議。平成29年2月に自治会等に対する戸別収集に関するアンケート調査の中で家庭ごみ袋の有料化についても調査した。	〈評価〉○ 〈説明〉 近年、家庭ごみは減量傾向にあるため、家庭ごみ袋の有料化に特化した調査研究の予定はなし。
生ごみの減量化・資源化の促進 〔循環型社会推進課〕	コンポスターの販売115台	イベントでの啓発、回覧での広報活動を実施した。平成28年度の販売実績は63台であった。	〈評価〉× 〈説明〉 イベント等で実際に使用することにより、ごみの減量化に対する啓発につなげる。
	電動生ごみ処理機購入費の助成30件	イベントでの紹介、補助制度説明のチラシを配布した。平成28年度の購入費の助成件数は26件であった。	〈評価〉△ 〈説明〉 イベント等で紹介することにより、ごみの減量化に対する啓発につなげる。
事業系ごみ多量排出者に対する指導 〔循環型社会推進課〕	58件	各事業所の排出量を把握し、多量排出事業者62社に対し減量化等計画書の提出を求めた。また、多量排出事業者のうち15社に対し、立入調査を実施した。	〈評価〉○ 〈説明〉 多量排出事業者に対し、ごみの減量化や分別排出の徹底の指導を行う。
剪定枝の有効利用の検討 〔循環型社会推進課〕	市内から排出される剪定枝を二宮町に完成予定の資源化施設へ搬出	剪定枝の分別収集を行い、資源化に努めた。平成28年度の家系系剪定枝の回収量は282,780kg	〈評価〉○ 〈説明〉 剪定枝の戸別収集が浸透してきており、昨年度より回収量が増加した。

廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進【重点施策】の総合評価

重点施策	目標	目標に対する評価	具体的な取組内容の評価	総合評価
廃棄物の発生抑制・資源化・適正処理の推進	市民1人が1日に排出するごみの量	○	△	△
	ごみの資源化率	○		

総合評価の説明

具体的な取組内容については、「ごみ減量化・資源化協力店制度の拡充等」、「電動生ごみ処理機購入費の助成」は概ね計画どおり実施、「コンポスターの販売」は目標未達成であったが、その他の取組は計画どおり実施することができ、概ね計画どおり実施とした。重点施策の目標は「市民1人が1日に排出するごみの量」、「ごみの資源化率」ともに目標値を達成することができた。

総合評価としては、一部の具体的な取組内容に課題が残るものの、2つの重点施策の目標がともに目標値を達成することができたこと、具体的な取組内容も概ね計画どおり実施できたことから、概ね計画どおり実施とした。

●施策2 不法投棄防止対策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 不法投棄防止対策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
不法投棄防止 パトロールの 実施 〔循環型社会推進 課〕	県との合同パトロールを4回、随時の パトロールを40回実施予定。	県との合同パトロールを4回、随時のパト ロールを65回実施した。
不法投棄防止 に向けた普及 啓発 〔循環型社会推進 課〕	不法投棄件数が増加傾向にあり、県と 協力しながら、看板掲出等により、適 正排出を啓発する。	不法投棄件数が増加傾向にあり、県と協力 しながら、看板掲出（42枚）等により、 適正排出を啓発した。
不法投棄物の 追跡調査と回 収 〔循環型社会推進 課〕	県、警察等関係機関と連携しながら、 追跡調査に取り組む。	県、警察等関係機関と連携しながら、追跡 調査に取り組んだ。

5 地球環境保全への貢献

5-3 広域的な環境保全に取り組みます

●施策1 市民活動との協働と広域的な連携による施策の推進 【基本施策】

〔具体的な取組内容〕

① 市民活動との協働と広域的な連携による施策の推進		
取組内容 〔所管課〕	計画	28年度実績
広域的なごみ処理の推進(再掲) 〔環境施設課〕	改訂 平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に基づいて広域化を進める。	改訂 平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画に基づいて広域化を推進した。
ツインシティ構想の推進(再掲) 〔都市整備課〕	土地区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行う。 神奈川県主催で、地元住民や学識経験者、行政の参加する「環境と共生するまちづくり検討会」に参加する。	土地区画整理組合と連携し、環境共生の取組など今後のまちづくりの検討や地権者へのヒアリングを行った。
桂川・相模川流域協議会への参加 〔環境政策課〕	運営委員会に出席し、クリーンキャンペーン等のイベントへの参加や同会の会報誌の配架や事業周知を行う。	運営委員会に出席し、クリーンキャンペーン等のイベントへの参加や同会の会報誌の配架や事業周知を行った。
金目川水害予防組合の活動の支援 〔農水産課〕	金目川の水害予防と沿岸耕地のかんがい用水の水源かん養のため、金目川の水源地である春嶽山を所有する金目川水害予防組合の管理運営費の一部を負担した。	春嶽山を所有する金目川水害予防組合の管理運営費の本市分を負担した。
「湘南里川づくり」への参加 〔企画政策課/関係課〕	住民協働の組織である「湘南里川づくりみんなの会」へ、行政幹事として参画する。	「湘南里川づくりみんなの会」の総会に1回、役員会に2回、フォーラムに1回、行政幹事として参加した。